

# ただ今 熱中ちゅう

## 日本画

きらびやかな絵で知られる狩野派は、室町時代中期から明治時代に及ぶ日本画史上最大の流派。狩野探幽や狩野芳崖などの名前を知っている人も多いと思います。そんな日本画に魅せられたのが、浅間本町の藤原友枝さん。伝法公民館の日本画グループで腕を磨いています。

「日本画との出会いは、中学生のときに見た近くのお寺の住職さんの絵。静かでやさしい美しさがあった、それ以来自分で描いてみたいと思っていました。二十一年近く思い続けていたことがやっとかなったのは五年前。伝法公民館の成人学級に、日本画の講座があるのを見つけたんです。しかも、お店が休みの火曜日だったんですね。「しめた」と思って早速申し込みました。



藤原友枝さん

最近は何に六枚ぐらい描いています。外へスケッチに行く時間がないので、身の周りのものを題材にしています。昨年は、おばあちゃんが大切にしている人形を、そしてことしは初孫が生まれたので、お座りできたら描きたいなって思っています。店を閉めて、夜十時ごろから二時ごろまで。朝食をつくってくれる夫に感謝しながら筆を握ります。



## 壁の花から フロアの花へ

「富士市農協ダンス部」



男子職員も協力してくれます

我がクラブが肥満指向からダイエット指向に、180度転換したのは10年ほど前のこと。先生の都合がつかなくなり、料理クラブが社交ダンス部に変身したのです。

現在部員は14人。そして全員が女性。

毎月第1土曜の午後に練習しますが、部員が支店や支所に散らばっているの、なかなか集まりにくいのが実情です。でもブルース、ジルバ、マンボなど、基本ステップさえ覚えれば壁の花からフロアの花へ大変身。クリスマスパーティーや懇親会などで、気持ちよく踊ります。

ことしの新入職員は24人。なんとかクラブへ引き込んで、いつかは部員の中から一組でも、ダンスの大会へ出場できれば、なんて夢もあります。

問い合わせ 富士市農協 齊藤里子 ☎51-2121

14



## 環境問題に取り組む

## 吉原第一中学校

私たち吉原一中生徒会では、世界中の国々でクローズアップされている環境問題に取り組んでいます。

これからも生徒会で、リサイクル運動に積極的に取り組み、大きな輪にしていきたいと思っています。

その一つは、数年前から行ってきたアルミ缶の回収です。初めは生徒会の資金づくりのためでしたが、近年見直され地域美化と資源のリサイクルを含めた活動に変わってきました。一人一人が「町から空き缶をなくそう」という意識を持って活動した結果、大成功でした。

また、森林の大量伐採に少しでも歯止めをかけようと、牛乳パックと故紙の収集もやっています。

これらの収益金は、雲仙普賢岳の噴火の被災者に寄附したり、生徒会の資金の一部にしたりしています。そして今、これらの活動をより活性化させるため、リサイクル委員会を発足させようとしています。私たちは、人類が生存するために必要不可欠な自然を守っていかなくてはなりません。自然を守る活動に、少しでも多くの人々に協力、参加してほしいのです。



△集めたアルミ缶は、重さを測り、トラックに積み込みます

## こちら編集室

この春の異動で、庁舎三階から八階広報へ参りました。同じ庁舎でも、階が変わり課が変わると、仕事や場の雰囲気もかなり違います。戸棚の位置も違います。さっそく頭をぶつけました。慣れるまでにどれだけ痛いめに合うのか、心配です。